

CXR Biosciences



より良い薬をより速く開発するために

CXR バイオサイエンスは、製薬、バイオテクノロジー、化学、農薬、食品、消費者向け製品メーカーなどの企業各社と協力しながら、自社開発モデルと在来技術とを融合することによって、創薬および医薬品開発を促進するとともに、毒性評価技術を強化向上しています。

当社の共同研究開発に対するアプローチ、自社開発モデルならびに最先端技術は、ファイザー、アストラゼネカ、ノバルティス、ワイス、シェリング・プラウ、プロクター・アンド・ギャンブルを含む世界一流の企業のほか、サイクラセル、ゲルベ、ジェロン、エンターメド、アルテミスなど比較的小さな組織との間で数々のプロジェクトを創出しました。

当社の実績は、数々の企業表彰でも認められています。最近では、英国貿易投資総省 (UK Trade & Investment) が主催する 2006 年度年間最優秀バイオ起業家賞授賞式で、英国技術革新実現バイオテクノロジー賞 (UK Innovation Enabling Bio-technology Award) を受賞しました。

会社概要

CXR バイオサイエンスは、創薬と安全性評価が今日直面している多くの重要な問題に対する新しいソリューションを提供しています。当社の創薬ソリューション (Drug Discovery Solutions™) と毒性評価技術 (Investigative Toxicology) の二つのプログラムは、創薬プロセスを加速するとともに、人体内における化合物の安全性をより効率的に評価できるように設計されています。

自社開発のスクリーニング技術、特許技術の機構モデル、ならびに新しい実験的アプローチによって、リード化合物の選択を最適化するとともに、医薬品開発が成功する可能性を高めます。新たにデータを追加しながら、最新のポストゲノム技術と専門的かつ実証的な研究デザインとを組み合わせることによって、リード化合物の選択と最適化に要する時間やコストを削減します。

このほか当社は、安全上の問題が生じた化合物を「救済」してきた実績でも定評があります。

当社の共同研究によって実現された創薬開発に有効な新しいスクリーニング技術や各種のモデルは、ライセンス契約によって、または創薬ソリューションパッケージの一部として顧客企業に提供しています。

CXR バイオサイエンスには 40 名のスタッフで構成するチームがありますが、豊富な業界経験を持ち前臨床開発を専門とする科学者や研究の最前線に立つ分子生物学者で混成するユニークなチームです。

当社では、胚性幹細胞、バイオマーカー、RNA プロファイリング、トランスジェニック (遺伝子導入) 動物ならびに遺伝子解析のような最新のポストゲノム技術と、人間や動物の細胞培養 (ヒトの肝細胞を含む)、生体内 ADME (薬物動態) および初期毒性評価、インビトロ (生体外) 生化学ならびに最新式の生物分析のような従来型の前臨床開発や安全性評価ツールを最大限に組み合わせています。CXR では、リード化合物の選択と最適化に一般的に使われている従来型の技術をすべて実施することができますが、その際、自社開発による新しいプラットフォームから得られた情報も加えています。

ライフサイエンス分野ではヨーロッパで最も進んだ大学のひとつとして知られるダンディー大学出身の二人の有力な科学者、ローランド・ウルフ教授とクリフ・エルコム博士が 2001 年に創立した当社はすでに、有力な複数の製薬・バイオテクノロジー世界企業との間で共同研究プロジェクトを始めています。

連絡先の詳細:

Dr. Tom Shepherd, Chief Executive Officer
CXR Biosciences Ltd
2 James Lindsay Place, Dundee Technopole
Dundee, DD1 5JJ
Scotland, UK

電話: +44 (0)1382 432163
ファックス: +44 (0)1382 432153
電子メール: info@cxrbiosciences.com
ウェブサイト: www.cxrbiosciences.com

SE/1839/AUG06

プラットフォーム技術

創薬ソリューション (Drug Discovery Solutions™)

CXR は、創薬の初期段階で化合物の安全性と代謝作用を研究するための数々のアプローチを独自開発することによって、標準的な各種の前臨床試験を広く補完しています。

- ・ 遺伝子操作によりヒトの代謝作用を再現するマウスモデル
- ・ 動物、細胞株ならびにヒト幹細胞における薬効スクリーニングと迅速な毒性評価を実現するための生体内、生体外レポーターシステム
- ・ 転写プロファイリング (医薬品候補の安全性の潜在的原因を評価することができる)
- ・ P450 代謝を不活性化させた HRN™ ノックアウトマウスを使って、代謝経路を解明し、薬効における吸収と代謝の役割を確かめる
- ・ マイクロサンプリングマウスによる薬物動態 (PK) 研究 (単一のマウス個体から複数の試料を採取し、少数の動物と少量の薬剤を使って実施することができる薬物動態研究)
- ・ 遺伝子組換え細胞株を使ったレポーターシステム (受容体系) のインビトロ (生体外) 研究 (PPAR その他)

リード創製 (Hit-to-Lead)

当社では、前述したような自社開発技術、ならびに各種の従来型技術を両方とも使って創薬ソリューションを設計することによって、医薬品候補の選定を最適化することができます。

当社の狙いは、専門的な見地から試験結果を解釈することができる総合的な試験パッケージを顧客企業に提供することによって対話型の顧客関係を築くことにありますが、迅速かつ質の高い顧客サービスは、それを提供する上で重要な要素となっています。

最新式の調査方法に基づく機構的安全性評価

CXR は、最新式の調査方法に基づく機構的安全性評価を行うユニークな能力を提供することによって、臨床上の悪影響が生じるメカニズムと、ヒトとの関連性を解明します。当社がこれほどユニークな立場にあるのは、当社が利用している広範囲に及ぶ遺伝子ツールと従来型の毒性評価ツール、ならびに当社が持つ専門知識の成果によるものです。

様々な動物種にわたる毒性作用について広範な専門知識を有する当社は、それがなければ放棄されていた可能性のある数々の化合物を「救済」してきました。

CXR との業務提携

CXR では、自社開発モデルをライセンス供与しています。または、創薬ソリューション (Drug Discovery Solutions™) や毒性評価技術 (Investigative Toxicology) を専門家に利用していただくためのサービスや専門知識を、それぞれサービスに応じた料金で提供することができます。当社ではこのほか、リード化合物の選択と最適化を進めるための新モデルの共同研究開発パートナーも募集しています。



www.cxrbiosciences.com